



# 山陽団地

## まるっと文化財マップ

赤磐市教育委員会

山陽団地開発から50周年を迎え、開発によって見つかった遺跡、今も守られている遺跡をもっと身近に感じてもらうため、この地図を作成しました。

マップ作成に関連したワークショップでは、地元の小学生8名と遺跡を見学し、情報をまとめました。掲載した絵の多くは小学生が現地で描いた絵です。

ぜひこのマップを片手にまちを散策し、地域の歴史と文化財をお楽しみください。

なお、この地図では混同を避けるため、開発当時の地名にあわせて「山陽団地」の呼称で統一しています。

**散策をするときの注意点**

文化財は、昔から今へと守り継いできた貴重な宝です。次の世代へ文化財を伝えていくために、次の点に注意しましょう。

- 個人の敷地には入らないようにしましょう。
- 信仰の対象となっている文化財もあります。大切に扱きましょう。
- 文化財を汚したり、壊したりしてはいけません。
- 許可なく触ったり、動かしたりしてはいけません。
- 文化財の近くでは火気厳禁です。
- 適切な服装で、ハチやヘビ、ウルシなどに注意しましょう。



協力 赤磐市立山陽公民館・山陽子どもアイランド  
 編集発行 赤磐市教育委員会  
 岡山県赤磐市下市 337 TEL 086-955-0710  
 平成31年2月 初版発行  
 URL <http://www.city.akaiwa.lg.jp/bunkazai/index.html>

**ようぎやまいせき 用木山遺跡** 弥生時代

急斜面に造られた集落で、中～後期の住居が100軒以上見つかった。土器や石器、多量の分銅形土製品等が出土した。現在の山陽西小学校の南東側に広がっていたが、開発により消滅した。

上から：石包丁・石鏝・分銅形土製品

用木山遺跡 発掘調査の様子

**びんぎやまいせき 便木山遺跡・便木山方形台状墓** 弥生時代

便木山遺跡は弥生後期の土坑墓が40基以上並ぶ墓地。方形台状墓の南側にあったが、開発により消滅した。便木山方形台状墓は弥生時代末の墓で、鉄鏃や玉類も見ついている。

特殊差・特殊器台形土器 想像復元図

便木山方形台状墓

**ようぎこふんぐん 用木古墳群** 古墳時代

16基からなる古墳群。副葬品も豊富で、1～4・6号墳は地域の有力者が葬られた。前方後円墳の6号墳は現在も保存される。

左から：銅鏡・鉄剣

用木1・2号墳 (左が1号墳)

**いわたこふんぐん 岩田古墳群** 古墳時代

岩田大池の北西側の丘陵にあり、円墳と方墳からなる14基の古墳群が開発時に見つかった。古墳の大半は開発のときに消滅したが、団地造成後に見つかった15号墳のほか、2・4・14号墳は現在も保存されている。

**いわた ごうふん 岩田2号墳**

直径約16m、高さ1.7mの円墳。石室の石材が一部見えるというが、発掘調査は行われていないため詳細はわかっていない。

左から：勾玉・管玉・切子玉・罎・鏡・子持鏡付脚付須恵器・陶棺

**いわた ごうふん 岩田14号墳**

横穴式石室を持つ円墳。石室の全長は11.8mと長い。木棺が7基置かれ、環頭大刀や雁木玉など、700点もの副葬品があった。

左から：岩田14号墳・雁木玉・奇装・環頭大刀 (2点)

**のやまこふんぐん 野山古墳群** 古墳時代

弥生公園の丘陵にあり、13基の古墳からなる。重要な遺跡として保存されている。2号墳の石棺の一部が露出している。

2号墳石棺

野山2号墳 石棺出土の様子

**みやまこふんぐん 宮山古墳群** 河本 古墳時代

6基からなる古墳群。4号墳からは、樽形跡や家形埴輪などが出土した。4号墳は山陽団地の開発によって消滅した。

左から：須恵器 樽形埴輪・杯身・杯底

宮山4号墳 発掘調査の様子

**びんぎやまこふんぐん 便木山古墳群** 古墳時代

便木西公園などの丘陵にある11基の古墳群。7号墳は調査が行われたが、その他の古墳は現在も保存されている。

7号墳箱式石棺

便木山4・5・6号墳 (左から4号墳)

**あしおうじんじや 足王神社** 和田 江戸時代

幾度か遷宮を行い現在の地に移る。足名稚命、でなつちのみこと、おおくに手名稚命、大國主命の三柱の神を祭神とし、特に足の神様として有名。

**えすみじんじや 疫隅神社** 河本 江戸時代

京都の八坂神社を勧請した。明治初期までは祇園神社と呼ばれる。祭神は素盞鳴命で、疫病を防ぐ神様として信仰される。

**さんようだんち いせき ひ 山陽団地遺跡の碑**

昭和49年 山陽団地の開発によって消滅した遺跡を慰霊するために建てられた。碑には岩田8号墳の石材が使用された。

遺跡の碑

**にほんいちきよだい もも 日本一巨大な桃**

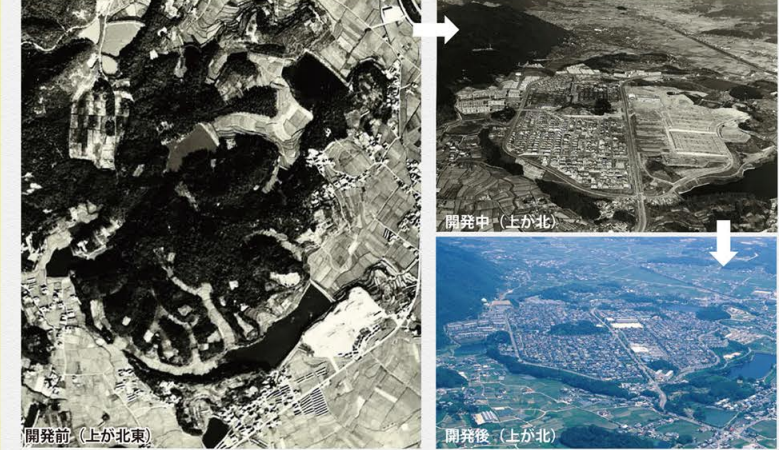
鴨前 現代 遠方からも見ることのできる巨大な桃。ではなく、桃のペイントを施したガスタンク。

ガスタンク

山陽団地の計画は、当時の山陽町下市・河本・岩田・和田・熊崎・鴨前の6地区にまたがり、東西900m南北1200m、施行行政面積約105haに及びました。開発工事に伴い行われた発掘調査は5年間にも渡り、約90もの遺跡を調査しました。

**山陽団地の歴史**

元号	西暦	できごと
昭和28	1953	高月村・高陽村・西山村が合併 山陽町が誕生
昭和42	1967	県営の大規模住宅団地建設計画の立案
昭和44	1969	4月 県営山陽団地建設基本協定の調印
昭和44	1969	10月 埋蔵文化財の発掘調査開始
昭和46	1971	山陽町下市・河本・岩田・和田・熊崎・鴨前の一部が開発により山陽団地となる 12月 県営住宅の入居開始(6丁目)
昭和48	1973	人口1万人突破
昭和49	1974	山陽西小学校をはじめ幼稚園が相次ぎ完成 山陽団地遺跡の碑の除幕式
昭和53	1978	出土した文化財を展示する中国古代資料館開館 (→昭和58年 山陽町郷土資料館へ)
平成17	2005	山陽町・赤坂町・熊山町・吉井町が合併 赤磐市が誕生 山陽町郷土資料館、赤磐市山陽郷土資料館へ改称 住所表示「山陽団地」から「山陽」へ変更になる



- 周辺の遺跡**
- 1 岡宮山古墳 (国指定)
  - 2 和山茶臼山古墳
  - 3 森山古墳
  - 4 廻り山古墳
  - 5 朱千駄古墳
  - 6 小山古墳
  - 7 備前国分寺跡 (国指定)
  - 8 備前国分尼寺跡

**アクセス**

車：山陽自動車道山陽ICから北へ約1.3km、下市交差点を西へ約2km、交差点を北上

バス：岡山駅から宇野バス(山陽団地・ネオポリス・林野駅方面)に乗り  
最寄停留所  
岩田14号墳：中二番  
野山古墳群：中二番  
便木山古墳群：中三番・西七番

※便により経路しない場合があります。ご注意ください。